

特集

JR左沢線を利用しよう

おいしい大江のナス

本郷東小学校で9月12日、「くるべえなすの日」給食交流会が開催されました。当日のメニューは取れたてくるべえなすを使用した「揚げナスの肉みそがけ」。児童たちはナスを生産した地元の農家の方々に感謝しつつ、おいしそうに食べていました。(11ページに関連記事)

平成25年

10

No.632



特集

大江町になくてもならない JR左沢線を利用しよう

昭和30年代の左沢駅とC11型SL

トンネルを抜けると、目の前には最上川の雄大なうねりと左沢の町並みが広がる。JR左沢線に乗って大江町に到着すると、車窓からこの素晴らしい景色を目にすることができます。

左沢線は今年で開業から91年を迎え、左沢駅に電車が発着する光景は、今では町の重要な一つの風景になっています。鉄道は定時制、大量運搬能力、環境にやさしいなどの多方面で他の交通機関にはないメリットを持ち合わせています。しかし近年、左沢線沿線上下では人口減少、少子高齢化の進行や自動車交通網の整備が進み、左沢線の乗降者数は減少傾向にあります。

利用客の減少を抑え左沢線を守っていくために、私たちはどのようなことができるのでしょうか？今月は、町にとってなくてはならない左沢線についてお伝えします。

左沢線90年の歴史

左沢線は今から91年前の大正11年に山形〜左沢間の全線が開通し、併せて左沢駅が開業されました。

鉄道が開通したことは当時の町にとって一大ニュースであり、町をあげてお祝いがされました。「汽車が来た来た〜ヘッキョ」の歌詞で知られる祭囃子「新ばやし」は、左沢線開通を記念して作られたもので、今でも毎年おおえの秋まつりで披露されています。

駅舎は町の北端、一面水田だった現在の場所に建てられました。町に通じる新しい道が開通したことで、運送会社や飲食店が次々に進出し、駅周辺の様相は一変しました。

終着駅でもある左沢駅構内には、蒸気機関車の水や石炭を補給する設備、機関車を方向転換させる回転

台などが設置され、SLの基地としての機能も備えていました。また、貨物車用の引き込み線も設置され、農作物や木材・木炭などの林産物、ベントナイトなど町の特産品を運ぶ貨物営業もおこなわれ、左沢駅は町の経済を支える重要な拠点となっていました。（貨物営業は昭和57年まで続きました）

昭和2年に白鷹町荒砥駅までを結ぶ「左荒線」計画が閣議決定され、昭和15年の完成を見込み、実施測量や調査がおこなわれましたが、直後に起こった日中戦争、第2次世界大戦、そして終戦という時代の流れの中で計画は見送られました。その後、村山・置賜の市町で「内陸循環線整備促進期成同盟会」が結成され、左荒線の実現運動を展開してきましたが、社会の変化により新たな鉄道建設が見込めない状況になったことから、左

左沢線のあゆみ

大正10年	7/20山形 - 羽前長崎に左沢軽便線として開業 12/11寒河江まで延伸開業
大正11年	4/23左沢まで延伸開業、左沢駅新設 9/2軽便鉄道法廃止により左沢線に改称
昭和2年	左荒線計画が閣議決定、その後戦争勃発により見送られる 北山形に奥羽本線停車開始、北山形 - 山形重複発生
昭和26年	12/25東金井・羽前金沢・南寒河江・西寒河江・柴橋駅新設
昭和37年	左沢駅開業40周年記念
昭和47年	3/31SLC11型引退、4/1気動車導入
昭和57年	山形 - 左沢（全線）で貨物営業廃止
昭和62年	JR 東日本運営を継承
平成2年	左沢線営業所新設
平成5年	新型車両（100系）導入
平成8年	内陸循環整備促進期成同盟会解散
平成11年	高校生サポーター会議開始
平成14年	左沢駅舎新築、交流ステーションが併設
平成16年	32年ぶりにSLが復活運転
平成24年	左沢駅開業90周年記念



- 1 左沢駅開業40周年記念の様子
- 2 旧左沢駅舎（H13. 4月撮影）
- 3 新築後の左沢駅舎、交流ステーションが併設された
- 4 開業90周年にあわせ、昨年販売された記念入場券。箱には開業当時の左沢駅が描かれている

荒線実現運動は平成8年をもって活動に幕を降ろしました。
昭和47年には蒸気機関車から気動車に切り替えられ、C11型蒸気機関車が実質左沢線最後の蒸気機関車となりました。
平成14年には左沢駅舎が開業以来80年ぶりに新築されました。新しい駅舎は西山杉を随所に使用しつつ土台を石垣風に表現し、町の歴史、景観に配慮するような形で建てられています。また、同年に駅併設の施設として交流ステーションが建てられ、中心となる尖塔型のシンボルタワーは中世にこの地を支配した大江氏の山城左沢楯山城と櫓をイメージされました。また、タワー内には毎年9月の秋まつり時に使用される山車が常時展示されるようになりました。

昨年左沢線は90周年を迎え、これあわせて自転車が入り入れできるサイクルトレインやC11型蒸気機関車・SL花回廊号の運行、記念セレモニー開催など90周年を祝うさまざまなイベントがおこなわれました。

町に鉄道があることの重要性

鉄道は定時制・大量運搬能力・安全性・二酸化炭素排出量抑制など、他の交通機関にはないメリットを多く持っています。町に駅があり鉄道が通っているという事もまたメリットとなります。

町に鉄道があることの重要性
鉄道は定時制・大量運搬能力・安全性・二酸化炭素排出量抑制など、他の交通機関にはないメリットを多く持っています。町に駅があり鉄道が通っているという事もまたメリットとなります。

また、左沢駅は開設から90年以上も、人々が行き交っている場所です。町内には実際に利用していた、もしくは今も利用しているという方が多くいます。そのため多くの方が左沢線に思い入れがあり、終着駅である左沢駅を大江町らしさと捉える方も少なくありません。その意味で左沢線は町の大切な文化的資産ともいえます。

また、左沢駅は開設から90年以上も、人々が行き交っている場所です。町内には実際に利用していた、もしくは今も利用しているという方が多くいます。そのため多くの方が左沢線に思い入れがあり、終着駅である左沢駅を大江町らしさと捉える方も少なくありません。その意味で左沢線は町の大切な文化的資産ともいえます。

鉄道は大人から子どもまで通勤、通学、買い物などの日常的な生活に利用しやすいため、町内企業に就職する方や県立左沢高等学校に入学を希望する生徒、町に移住を考えている方にアクセスが整備されているというプラスのイメージを持ってもらえる要因になります。さらに、左沢線沿線地域を強く結び付け、人々の交流を容易にすることから、町内で開催されるイベントへ参加してもらいやすくなるなどの効果も期待できます。

また、左沢駅は開設から90年以上も、人々が行き交っている場所です。町内には実際に利用していた、もしくは今も利用しているという方が多くいます。そのため多くの方が左沢線に思い入れがあり、終着駅である左沢駅を大江町らしさと捉える方も少なくありません。その意味で左沢線は町の大切な文化的資産ともいえます。

減少傾向にある利用者数



1

- 1 左沢駅から荒砥駅を目指すサイクルトレインの参加者
- 2 左沢線で運行されていたC11型SLはイベントの中でも特に人気がある
- 3 昨年の町民号の旅ではリゾート列車kenji号が運行された
- 4 花火大会時に運行される団体専用列車「左沢花火号」
- 5 荒砥駅と左沢駅を結ぶレトロバスツアー



2



4



3



5

道経営に直接影響を与えてしまうことから、減便や廃線につながる恐れがあります。

減少の原因としては左沢線沿線における人口減少や少子高齢化の進行、自動車交通の発達などが考えられます。これらの原因を踏まえた上で利用者数を増やしていくためには、鉄道事業者であるJR東日本(以下JR)に加え自治体、地元住民、地元企業などが連携し「自分たちの鉄道」という思いのもと、知恵を出し合い地域が一丸となつて左沢線を支えていくという取り組みが重要です。

観光による利用の促進

利用者数を維持していく方法の一つに、新しい客層である「観光客」の増加が考えられます。これは昼間や週末など通勤通学などの利用者が少ない時間帯にイベントやツアーを催行し、参加者から左沢線を利用してもらうという取り組みです。現在、町および大江町観光物産協会ではJRと連携し「駅長おすすめ小さな旅」をはじめ町内を巡るさまざまなツアーを催行しています。

町内には重要な文化的景観や四季折々のイベント、門外不出の地酒大江錦など、大江町ならではの魅力的な素材が数多くあります。それらの素材と左沢線を組み合わせ観光客を呼び込むことで、左沢線の利用者数

JR 左沢駅の乗降者数

年次	乗降者数(人)			発着本数
	総数	内定期券	一日平均乗降者数	
16年度	340,180	273,750	932	発 13 着 13 計 26
17年度	323,390	259,150	886	発 13 着 13 計 26
18年度	307,330	248,930	842	発 13 着 13 計 26
19年度	302,220	245,280	828	発 13 着 13 計 26
20年度	283,970	230,680	778	発 13 着 13 計 26
21年度	287,620	236,520	788	発 13 着 13 計 26
22年度	286,160	235,790	784	発 13 着 13 計 26
23年度	282,510	234,330	774	発 13 着 13 計 26

の増加につなげていくことができ、さらに町の経済活性化にもつなげることができま。

また、JRは鉄道の運行だけでなく、国内最大の旅行会社という側面もあります。JRの旅行営業所(以下びゅう)では、年間通じてJRを利用したさまざまな旅行商品が企画され、各営業所で販売されています。町では、左沢線を運行するJR左沢線寒河江営業所の販売収入の増加を図るため、今年から寒河江営業所でびゅうの旅行商品を購入した場合、1人



鉄道会社と地域は 運命共同体

東日本旅客鉄道株式会社
左沢線営業所
所長 遠藤 伸一 さん

私たち鉄道会社は何よりも力を入れていることは、お客様を安全に目的地までお運びすること、そして質の高いサービスの提供により多くのお客様に満足していただくことです。

当社はこれまで、地域の皆様の活力に支えられてきました。地域と鉄道会社は運命共同体であり、お互いに良い関係を築き、発展していくことが理想だと思っています。

現在、左沢線の利用者の8割～9割は朝夕の通学で使用する高校生です。人口減少につれて徐々に利用者は減っており、これからもこの傾向は続くと考えられます。左沢線を存続・発展させていくためには、何よりも、地域の皆様に左沢線を利用していただくことが一番です。また、『観光』も重要であり、地域の方と外からいらっしゃるお客様の想いをいかにしてつなげていくかが私たちの役目だと認識しています。

大江町には、今年3月に選定された重要文化的景観をはじめ、魅力的なイベント・特産品が多くあります。来年は県内自治体とJRグループ、観光業者などが連携した大型観光キャンペーン「山形ディスティネーションキャンペーン（組織的宣伝活動）」も開催されますので、町の魅力を全国に発信できるとも良い機会です。私たちも大江町の素晴らしさをいらっしゃったお客様に伝え、地域経済の活性化につなげていきたいと思っておりますので、町民の皆様も、おもてなしの心を忘れずにぜひ今ある大江町の魅力をどんどん発信していただくできれば幸いです。

3000円の舟唄商品券を助成しています。

現在、町の公共交通機関利用促進協議会、観光物産協会、JRが連携しておこなっている主な取り組みは次のとおりです。

①大江町民号の旅：左沢線など公共交通機関の利用拡大と町民同士の親睦を目的に毎年開催され、33回目になります。今年は岩手県と宮城県を訪れました。

②駅長おすすめ小さな旅：地域から企画を募集しておこなわれる日帰りツアーです。今年はひなまつり、一店逸品、ヒメサユリまつりなどを巡るツアーが催行されています。

③団体専用列車：びゅうが企画するツアーへの参加者のために運行される専用の列車です。今年は柳川温泉と大江錦を味わう「お座敷列車」と花火大会に合わせて「左沢花火号」が運行されました。

④SLの運行：JRが主体となって運行されます。今年では来年の山形ディスティネーションキャンペーンのプレイベントの一つ「山形日和号」号として左沢線運行されました。

⑥レトロバスツアー：まぼろしとなった左沢線を情緒あるレトロバスで巡るツアーです。左沢駅を出発して、大江町、朝日町、白鷹町それぞれの一押し観光スポットを巡りながら荒砥駅を目指します。

⑦サイクルトレイン：新たな客層の発掘をめざし、町とJR、フラワー長井線を経営する山形鉄道株式会社が連携して実施する、自転車に乗せることが可能な列車です。参加者は各町の観光スポットを巡りながら、左沢駅から荒砥駅までのサイクルリングを楽しみました。

私たちができること

左沢線ではさまざまな取り組みをおこなっていますが、それにも限界があります。

全国には左沢線と同じく利用人数の減少で悩んでいる路線が数多く存在し、各路線でさまざまな取り組みがされていますが、「こうすれば利用人数が増加する」という方法は確立されていないのが現状です。ただし、取り組みによって利用人数や営業収入を伸ばしている路線に共通していることは、鉄道運営会社と地元自治体、地元住民とがしっかりと協力しているということだと思います。

私たちが、明日からでも協力できることは、小まめに左沢線および左沢駅を利用することです。例えば、新幹線を利用する場合でも左沢駅で乗車券を購入する、旅行や出張で遠くに出かける場合はなるべく左沢線を利用するなど、無理のない範囲で心がけていけば、その行動の一つが左沢線を守ることに繋がっていきます。

●●各会計の決算状況●●

平成24年度

決算報告

平成24年度の一般会計と各特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。一般会計と7つの特別会計の総額は、歳入が78億6152万円、歳出が74億8164万7810円となり、その概要をお知らせします。

一般会計

歳入総額		53億660万円		歳出総額		50億2,206万円	
町税	8億477万円	議会費	9,790万円	総務費	8億6,843万円	民生費	10億7,089万円
町税の内訳		衛生費	2億2,240万円	労働費	823万円	農林水産業費	3億1,113万円
固定資産税	3億5,985万円	農工商費	8,948万円	土木費	9億272万円	消防費	1億9,078万円
町民税	3億5,787万円	教育費	4億4,344万円	災害復旧費	1億1,663万円	公債費	6億7,573万円
町たばこ税	4,540万円	諸支出金	2,430万円				
軽自動車税	2,262万円						
都市計画税	1,842万円						
入湯税	61万円						
地方譲与税	6,292万円						
利子割交付金	178万円						
配当割交付金	91万円						
株式等譲渡所得割交付金	26万円						
地方消費税交付金	7,143万円						
自動車取得税交付金	1,942万円						
地方特例交付金	380万円						
地方交付税	23億7,058万円						
交通安全対策特別交付金	125万円						
分担金及び負担金	376万円						
使用料及び手数料	7,941万円						
国庫支出金	4億3,557万円						
県支出金	2億9,388万円						
財産収入	1,371万円						
寄付金	841万円						
繰入金	2億2,749万円						
繰越金	2億9,853万円						
諸収入	5,892万円						
町債	5億4,980万円						

町の財産状況

土地	1,444,767㎡
建物(延床面積)	58,772㎡
道路(町道)・橋りょうの延長	189,592m
車輛	80台
有価証券など	7,733万円
積立金(基金)	20億2,630万円
温泉権(4件)	3億4,693万円

※すべての会計の合計。車輛には、除雪車や消防自動車、小型動力ポンプなども含まれます。

特別会計

歳入総額		25億5,493万円		歳出総額		24億5,957万円	
国民健康保険特別会計	11億1,411万円	国民健康保険特別会計	10億4,289万円	後期高齢者医療特別会計	1億83万円	介護保険特別会計	9億4,855万円
後期高齢者医療特別会計	1億332万円	後期高齢者医療特別会計	1億83万円	介護保険特別会計	9億4,855万円	宅地造成事業特別会計	2,062万円
介護保険特別会計	9億5,959万円	介護保険特別会計	9億4,855万円	宅地造成事業特別会計	2,062万円	簡易水道事業特別会計	622万円
宅地造成事業特別会計	2,162万円	宅地造成事業特別会計	2,062万円	簡易水道事業特別会計	622万円	公共下水道事業特別会計	2億9,810万円
簡易水道事業特別会計	739万円	簡易水道事業特別会計	622万円	公共下水道事業特別会計	2億9,810万円	農業集落排水事業特別会計	4,236万円
公共下水道事業特別会計	3億568万円	公共下水道事業特別会計	2億9,810万円	農業集落排水事業特別会計	4,236万円		
農業集落排水事業特別会計	4,322万円	農業集落排水事業特別会計	4,236万円				

水道事業会計

収入総額		2億7,062万円		支出総額		3億2,770万円	
収益的収入	2億3,556万円	収益的支出	2億3,091万円	資本的収入	3,506万円	資本的支出	9,679万円
資本的収入	3,506万円	資本的支出	9,679万円				

※資本的収支の不足額については、当年度消費税資本的収支調整額、過年度損益勘定留保資金、当年度損益勘定留保資金で補てん

一般会計の主な増減

単位：万円、%

歳入総額	平成24年度		平成23年度		増減額	増減率	歳出総額(性質別)	平成24年度		平成23年度		増減額	増減率
	53億660	53億5,996	△ 5,336	△ 1.0				50億2,206	50億6,143	△ 3,937	△ 0.8		
町税	8億477	8億6,365	△ 5,888	△ 6.8	人件費	9億713	9億4,459	△ 3,746	△ 4.0				
地方交付税	23億7,058	24億6,999	△ 9,941	△ 4.0	扶助費	4億4,781	4億4,254	527	1.2				
国庫支出金	4億3,557	4億3,654	△ 97	△ 0.2	補助費等	4億9,902	5億3,066	△ 3,164	△ 6.0				
県支出金	2億9,388	2億9,362	26	0.1	公債費	6億7,573	7億5,602	△ 8,029	△ 10.6				
繰入金	2億2,749	2億4,671	△ 1,922	△ 7.8	繰出金	5億8,023	5億4,843	3,180	5.8				
町債	5億4,980	3億9,450	1億5,530	39.4	普通建設事業費	8億9,996	8億4,501	5,495	6.5				

決算規模は、歳入が53億660万円(1.0%の減)、歳出は、50億2,206万円(0.8%の減)となりました。前年度比較で減となった主な要因は、歳入は、地方税や地方交付税が減少した一方で、投資的経費に充当された町債が増加しましたが、全体では減となっています。また、歳出では、公共土木施設災害復旧事業などの投資的経費は増加したものの、公債費や人件費、補助費等が減少したことにより全体で減となったものです。

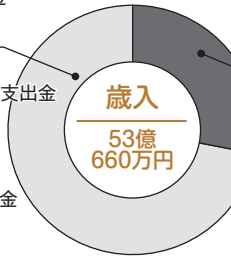
収支決算（一般会計）

依存財源

国・県から交付されたり、借り入れられたりしたお金

71.8%

- 38億1,161万円
- 地方交付税●国庫支出金
- 町債●県支出金
- 地方譲与税
- 地方消費税交付金
- 自動車取得税交付金
- 地方特例交付金
- 利子割交付金
- 交通安全対策特別交付金
- 配当割交付金
- 株式譲渡所得割交付金



自主財源

町が自主的に収入できるお金

28.2%

- 14億9,499万円
- 町税●繰入金●繰越金
- 使用料及び手数料
- 諸収入●財産収入
- 寄附金
- 分担金及び負担金

その他の経費

39.2%

- 19億7,165万円
- 補助費等●物件費
- 維持補修費●繰出金
- 積立金●その他

投資的経費

建設工事などに使ったお金

20.3%

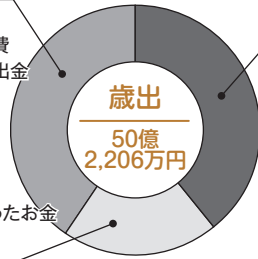
- 10億1,974万円
- 普通建設事業費
- 災害復旧事業費

義務的経費

支出が義務付けられているお金

40.5%

- 20億3,067万円
- 公債費
- 人件費
- 扶助費



主な財政指標の推移（一般会計決算に基づくもの）

区分	22年度	23年度	24年度
財政力指数	0.26	0.25	0.26
経常収支比率	82.5%	83.2%	86.0%
公債費負担比率	18.5%	17.8%	16.6%

※**財政力指数**とは、地方交付税法の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3か年平均値です。自治体の財政力を示す指標として用いられ、数字が大きければ大きいほど財政的に豊かであるといえます。

※**経常収支比率**とは、町税や普通交付税などの用途を特定されない経常的な一般財源収入に対して、人件費や公債費といった毎年必ず出ていく経常的に支出されるお金の割合がどのくらいになっているかを示す値です。この値が大きくなればなるほど自由に使えるお金が少ないということになります。

※**公債費負担比率**とは、公債費に充当した一般財源が、一般財源総額に対してどの程度の割合になっているかを示す指標です。この値が大きくなると、一般財源の使い道が制約されていることとなります。

一般会計の町債（借入金）残高の推移

単位：万円

区分	22年度	23年度	24年度
発行（借入）額	5億220	3億9,450	5億4,980
元金償還（返済）額	6億7,869	6億8,378	6億1,135
年度末残高	51億4,285	48億5,357	47億9,201

各特別会計の町債（借入金）年度末残高の推移

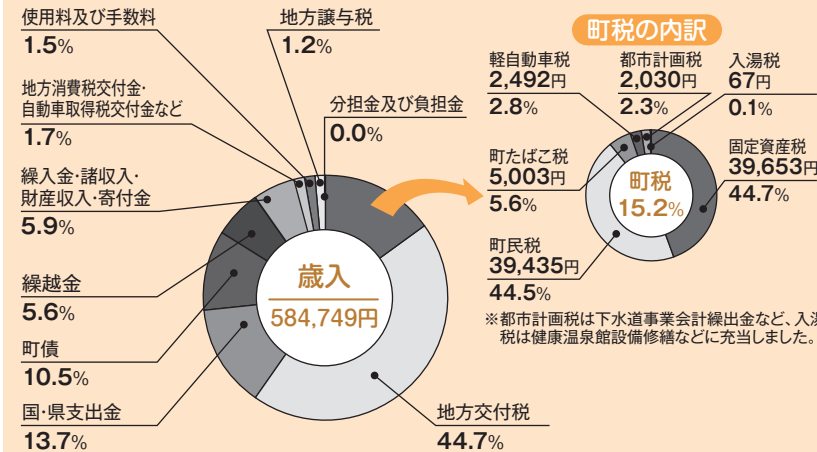
単位：万円

会計区分	22年度末	23年度末	24年度末
簡易水道事業特別会計	367	255	225
公共下水道事業特別会計	23億4,653	23億8,160	23億1,166
農業集落排水事業特別会計	3億5,633	3億3,523	3億1,455
水道事業会計	7億2,768	7億64	6億7,510
合計	34億3,421	34億2,002	33億356

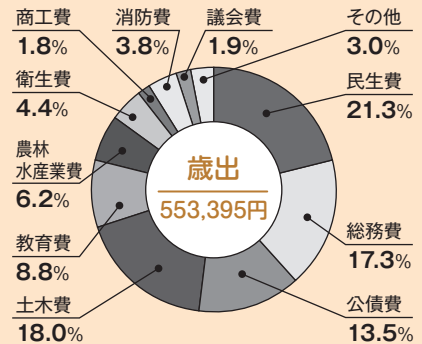
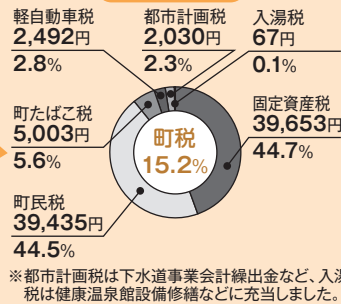
町民一人あたりの歳入と歳出

町の人口 / 9,075人

(平成25年3月31日現在・住民基本台帳人口)



町税の内訳



歳入		584,749円
町税	皆さんから納めていただいた税金	88,680円
地方交付税	団体の財源の不均衡を調整するため、国税として国が代わって徴収し、分配されたお金	261,221円
国・県支出金	町の事業に対し、国や県から交付されたお金	80,380円
町債	国や金融機関から借りたお金	60,584円
繰入金・諸収入・財産収入・寄付金	基金を取り崩したお金、町有地などを売却して得たお金、寄附をいただいたお金など	33,998円
繰越金	前年度から繰り越されたお金	32,896円
地方消費税交付金・自動車取得税交付金など	消費税の一部、自動車取得税の一部として県から交付されたお金など	10,893円
使用料及び手数料	施設や保育所の使用料、住民票をとるときの手数料など	8,750円
地方譲与税	国が徴収した自動車重量税などから分配されたお金	6,933円
分担金及び負担金	施設の入所費用など特定の利益を受ける方に負担していただいたお金	414円
町民一人あたりの町債残高（一般会計）		528,046円

歳出		553,395円
民生費	高齢者、障害者、児童など福祉の費用	118,004円
土木費	道路、河川、公園の整備などの費用	99,473円
総務費	地域振興や徴収、戸籍、選挙などの費用	95,695円
公債費	国や金融機関から借りたお金の返済費用	74,461円
教育費	小・中学校や生涯学習、体育振興などの費用	48,864円
農林水産業費	農業や林業の振興、土地改良事業などの費用	34,284円
衛生費	保健衛生やごみ処理などの費用	24,507円
消防費	消防や消火栓の整備などの費用	21,022円
議会費	議会の費用	10,788円
商工費	商工業の振興や各種観光イベントなどの費用	9,860円
その他	労働者に対する金融対策などの費用ほか	16,437円

の算定結果を報告します

◆実質赤字比率

※ 実質赤字額の標準財政規模に対する割合	本町	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成23年度
	黒字	15.0%	20.0%	黒字

実質赤字額とは、支出を翌年度に繰り延べたり、翌年度の歳入を繰り上げて使ったりした額のことです。平成24年度は、225,703千円の黒字決算となりました。

◆連結実質赤字比率

連結実質赤字額の標準財政規模に対する割合	本町	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成23年度
	黒字	20.0%	30.0%	黒字

連結実質赤字額とは、一般会計や特別会計など町のすべての会計の実質赤字額(資金不足額)のことです。平成24年度は、いずれの会計とも赤字額が生じておらず、合計で635,663千円の黒字決算となりました。

◆実質公債費比率

実質公債費の標準財政規模に対する割合	本町	県内市町村平均	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成23年度
	9.6%	12.1%	25.0%	35.0%	10.7%

実質公債費とは、町(一般会計等)が負担する公債費と補助金等を分割して負担するなどの債務負担行為などの公債費に準ずる支出のことです。比率は3か年の平均により算出しますが、内訳は、平成22年度…9.32056%、平成23年度…9.78742%、平成24年度…9.78197%となっています。

◆将来負担比率

将来負担額の標準財政規模に対する割合	本町	県内市町村平均	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成23年度
	45.1%	78.4%	350.0%		55.1%

将来負担額とは、町(一般会計等)が将来にわたって負担すべき、町債、債務負担行為などのことです。また、町の貯金である基金などは、この負債から控除して計算されます。具体的な計算は、以下のとおりです。実質的な負債となる額8,581,551千円(A)、充当可能財源7,372,304千円(B)、標準財政規模(C)※、平成24年度の算入公債費等の額593,802千円(D) $(A-B) \div (C-D) = 45.1\%$

※…標準財政規模等とは、税収、地方譲与税、普通交付税などの用途を特定されない収入(一般財源)の標準とされる額で、平成24年度は、3,274,713千円となっています。

地方自治体財政の早期健全化や公営企業の経営健全化を図るため「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行され、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの健全化判断比率と、公営企業ごとの資金不足比率の算定と公表が義務付けられています。

このたび、平成24年度の算定を行ったところ、指標はすべて基準を下回り、町の財政は健全性を確保できていることがわかりました。今回は、その概要をお知らせします。(より詳しい内容は、町ホームページで公表しています。)

議会

town council

9月定例会

平成25年度大江町議会第3回定例会が、9月5日から13日までの会期で開かれました。

今定例会では7月の豪雨災害などに伴う平成25年度一般会計補正予算をはじめ、副議長の選出、人事案件、各会計の補正予算などが審議され、原案どおり同意、可決されました。

冒頭に渡邊町長から行政報告がありましたので、その内容の一部を紹介します。

行政報告

宅地の分譲状況について
町が保有する宅地分譲地の「きらりタウン美郷」1区画、「蛍

人事案件

水住宅団地」2区画が未分譲となっていました。

美郷については最後の1区画について分譲契約の締結に向けての手続きをしている段階にあり、美郷区コミュニティセンター建設用地として確保していた土地の一般会計での買い上げも含めて、完売の見通しとなりました。

蛍水団地については、6月に1区画について分譲契約を締結しており、また残る1区画についても、先日、分譲契約を締結し、こちらも完売となりました。

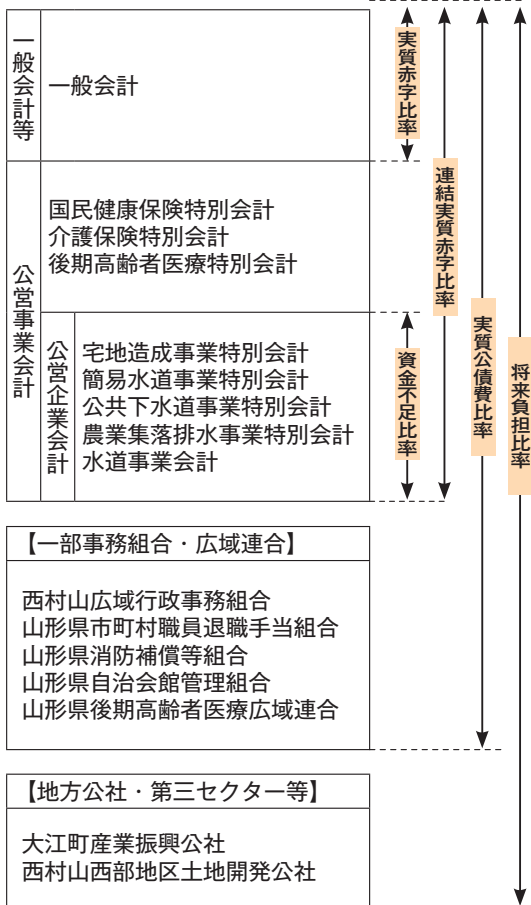
町が保有する宅地分譲地がすべて完売となる見込みとなり、今後は、現在検討中の新しい住宅団地について早期に取り込みをすすめていきます。

大江町監査委員の任期満了に伴い、安藤宏氏(12区)が再任されました。任期は平成29年10月までとなっています。

大江町教育委員会委員の任期満了に伴い、富樫是行氏(若原

平成24年度 財政健全化判断比率等

財政健全化比率等の対象範囲



◆資金不足比率

公営企業会計の名称	本町	経営健全化基準	事業規模(千円)
水道事業会計	—	20.0%	222,744
簡易水道事業特別会計	—	20.0%	1,593
公共下水道事業特別会計	—	20.0%	50,040
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%	6,558
宅地造成事業特別会計	—	20.0%	21,358

資金不足比率とは、公営企業ごとの資金の不足額が事業の規模に対してどの程度あるかを示すものです。平成24年度は、いずれの会計ともに資金不足額が生じていません。

●●財政健全化法とは●●

財政健全化法とは、地方公共団体の財政破たんを未然に防ぐため、健全化判断比率により財政状況を把握し、悪化した団体に対して早期健全化を促すための法律です。これらの指標の基準には、外部監査などが義務付けられる「早期健全化基準」と破綻状態と見なされ事実上国の管理下に置かれる「財政再生基準」の二段階があり、いずれかの基準を超過すると、財政健全化計画または財政再生計画の策定などにより健全化を目指すことになります。また、資金不足比率についても、早期健全化のレベルにあたる「経営健全化基準」に抵触すると、経営健全化計画の策定などの制約が加わることになります。

●●大江町の指標のポイント●●

実質公債費比率は、平成24年度の元利償還金(地方債の借入金の返済金)が減少したことにより、前年度より1.1ポイントの改善となりました。

また、将来負担比率は前年度より10.0ポイントの改善となっており、将来負担額となる地方債(借入金)現在高が減少したことと、充当可能財源である基金(貯金)が増加したことが主な要因となっています。

今回の算定では、いずれの指標とも改善傾向を示す結果となりましたが、町では今後も地方債の発行にあたっては慎重に進めながら財政の健全化に努めていきます。



▲各地で進む豪雨災害からの復旧(顔好橋付近)

区)が再任されました。任期は平成29年9月までとなっています。

補正予算

平成25年度一般会計補正予算(第5号)が原案通り可決され、歳入歳出にそれぞれ4億6980万円を追加し、総額は50億4560万円となりました。支出の主な内容は次のとおりです。

総務費では、七軒地区の区長宅に設置する緊急連絡用FAX設置費や、道の駅に設置する電気自動車用の急速充電器の工事費、財政調整基金積立金など1億319万円。豪雨により被災した農地、農業用施設に対する町単独土地改良事業補助金の追加や、美郷コミュニティセンター1建設工事に係る用地取得費など農林水産業費に6037万円。商工費では、テルメ柏陵健康温泉館の木風呂改築に伴い、露天風呂を新たに設けるためなどの追加工事費など6496万円。教育費では、山腹崩壊が発生した国指定史跡左沢楯山城跡(楯山公園)復旧工事費など4677万円となっています。

第2〜4号補正については、融雪や7月の豪雨による被害に対応するための専決処分がなされ、議会でその内容が報告・承認されました。主な支出としては、融雪による町道・林道の復旧工事、豪雨による農薬購入費補助や農地、農業用施設の復旧費、公共災害申請に係る測量設計委託料などとなっています。

交通安全をみんなで啓発 ～平成25年度大江町交通安全町民大会～

交通安全を啓発するためのさまざまな発表を通じて、町民一人一人の交通安全意識の高揚を図ろうと、平成25年度大江町交通安全町民大会が9月1日、町民ふれあい会館で開催されました。

大会では、はじめに古澤一典寒河江警察署長が「シートベルトの全席着用と飲酒運転の撲滅を進め安全安心な交通社会を目指します」とあいさつされました。続いて山形県警察音楽隊による演奏やJA共済による交通安全落語&レインボー体操、町内幼稚園・保育園の園児によるかもしかクラブのステージ発表などが披露され、交通安全の大切さを楽しくかつ分かりやすく紹介しました。

特に、かもしかクラブのステージ発表では、警察音楽隊による生演奏で、県警のマスコット『カモンくん』と園児たちが一緒に交通安全マーチを披露し、会場から大きな拍手がおくられました。

大会の終わりには左沢高校生徒会生活委員の皆さんが「私たちは交通ルールを守り、交通事故の無い安全安心な町を作っていきます」と決意を表明し、参加した400名と共に交通事故の撲滅を誓いました。



- ①カモン君と一緒に園児たちが交通安全マーチを披露しました
- ②警察音楽隊による演奏
- ③ロビーには小学4年生の交通安全メッセージ（ハートフルメール）と園児の絵が展示されました



- ▲営業写真の部
入選・家族の絆賞
「ファミリー」
- ◀福島県知事賞
婚礼写真の部・金賞
「WEDDING」

- ▲自由作品の部
入選「Profile」

輝いて 今 第71回東北写真真コンテスト 福島県知事賞 菊地邦弘さん（9区）

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します。

東北地方の写真館経営者で組織する、東北六県写真師会連合会が第71回東北写真コンテストを開催し、菊地邦弘さん（菊地写真館・9区）が婚礼部で最高の金賞に、総合で最高賞に次ぐ福島県知事賞を受賞しました。

菊地さんはこのほか同コンテストでただ一人営業写真の部と自由作品の部でも入選を果たしています。撮影にあたっては、被写体の自然な雰囲気や壊さないように気を付けながら、その方の持つ魅力を引き出すポーズをとってもらったそうです。

受賞については「さまざまな写真コンテストに挑戦していますが、賞を狙って取ることは難しいと感じています。選んでいただいた審査員とすばらしい写真を撮らせていただいたお客様両方に感謝したいと思えます」と喜びを話してくれました。



■実りの秋、フルーツフェア開催 ～第3回大江のうまいもの市～

魅力的な町の特産品を一堂に集め、開催される大江のうまいもの市。その今年最後のうまいもの市が9月8日、左沢駅前で開催されました。

今回の主役は、今が旬の大江のフルーツ。会場ではスモモがプレゼントされたほか、もも、リンゴなど町内産のおいしい果物が販売されました。また、うまいもの市だけの限定品として、町内菓子店協力のもと、とれたてのカボチャを使用した濃厚なパンプキンケーキが作られ、訪れた方に振る舞われました。

当日はこの他、ミニライブやユニークな格好をしたチンドン屋が登場し会場を盛り上げました。またSL「山形日和」号の運行やクラシックカーミーティングの同時開催も相まって、会場には多くの方が訪れました。

■たくさん食べて元気な体に ～「くろべえなすの日」給食交流会～

子どもたちに地元のおいしい“くろべえなす”を味わってもらおうと9月12日、本郷東小学校で給食交流会が開催されました。

くろべえなすは通常のナスの3～4倍の大きさがあり、色鮮やかで水分が多く、漬物、煮物、炒めものなど、どの調理方法でもおいしく食べることができます。交流会では朝採りたてのくろべえなすを使用した“揚げナスの肉みそがけ”が出され、子どもたちは「やわらかくてきれいな色だね」などと話しながら、おいしそうに食べていました。

堀実大江茄子部会長は「なすはビタミン、ミネラル、食物繊維などをバランス良く含んでいます。これからの季節おいしいナスが町内でたくさん取れるので、ドンドン食べて元気に学校生活を送ってください」と話してくれました。



■その名も「日本一くん」 ～大江町商工会ゆるキャラ作成～

大江町商工会で商店や町のPRにつなげようと、重要文化的景観をイメージする“ゆるキャラ”を作成しました。

ゆるキャラの名前は、その名も「日本一くん」。重要文化的景観の重要な構成要素であり、“日本一公園”の愛称で知られる楯山公園から命名されました。

デザインの原案は一般に公募された中から決定されました。髪型が最上橋、目がさくらんぼ、耳がスモモ、口が最上川のうねりなど町ならではのものがちりばめられた、凛々しいキャラクターになっています。

商工会では、今後さまざまなキャラクターグッズに応用するため、さらにデザインを検討していくと共に、町内商店で自由に使用できるようにする予定です。



現在各商店街の街灯には「日本一くん」入りの旗が設置されています▶



大江の

秋まつり

大江町の伝統芸能が一堂に会する大江の秋まつりが
9月15日に開催されました。
当日は激しい雨の降るあいにくの天気でしたが、出
演者たちは重要文化的景観に選定された歴史ある町並
みを練り歩きながら、自慢の伝統芸能を披露していま
した。



①



④



②



⑤



③



8



6

出演団体

- ①左沢獅子踊
- ②六区親和会子供神輿
- ③八区女相撲甚句
- ④おかみさんソーラン愛好会
- ⑤九区尚和会神輿
- ⑥御免町囃子座
- ⑦MOVERヒップホップダンス
- ⑧八幡神社神輿
- ⑨七区囃子屋台



7

9

重要文化的景観の町に “秋の祭り囃子”が響き渡る





▲さまざまな香草に興味津々

◀今回のメニューはガパオライスとアボガドサラダ、マンゴープリン

9/1 香草に興味津々

～おおえ国際交流協会「エスニック料理教室」～

今年初めてとなる世界の料理教室が9月1日、中央公民館を会場に開催されました。

今回は、タイやインドをはじめとするエスニック料理作りにおおえ国際交流協会会員など13名が挑戦。講師の森谷恵美子先生から今回使用する数種類の香草について説明があると、参加者は香りの違いを実際に手に取りながら比べあっていました。

エスニック料理を食べた参加者は、「すごくおいしいし、簡単に作れてびっくり。国際交流という身構えてしまうが、食文化など身近なものを学べるのは嬉しいです」と話していました。

おおえ国際交流協会では、10月27日におおえハロウィンパーティー2013を開催する予定です。

9/4 青苧から真っ白な繊維を

～大江中学校1年生青苧糸引き体験～

青苧復活夢見隊と大江中学校1年生による、青苧の糸引き体験が9月4日、旧本郷西小学校体育館でおこなわれました。

この体験は、1年生の総合の時間を活用し今年初めておこなわれ、材料には橋上区の青苧畑から収穫された2番草の青苧（1番草は7～8月に収穫）が用いられました。

糸引きは茎を水につけ、板の上で繊維以外の余分な部分をそぎ落としていく作業です。生徒たちは夢見隊の方々からの指導の下、はじめに人差し指と親指で表皮をきれいに剥がす方法を教わり、その後“金ペラ”と呼ばれる道具を使用して真っ白な繊維を取り出す方法を教わっていました。

総合の時間では今後、取り出した繊維を使用してコースターを作成したり、青苧を使用した食べ物づくりなどをおこなう予定です。

力加減に気をつけながら繊維を取り出しました▶



▲「あまちゃん」の衣装で応援

9/7 気合の掛け声は「じえじえ!!」

～町立小学校運動会～

水田に実りの秋を感じさせる9月7日、町内各小学校で運動会が開催されました。

本郷東小学校では、「紅白ともに優勝目指して全力で戦え!」のスローガンのもと、生徒たちが各種目で熱戦を繰り広げました。

運動会の見せ場の一つである応援合戦では、両軍ともこの日のために練習してきた気合の入った応援が発表されました。白組は人気ドラマ「あまちゃん」の衣装で「じえじえ!!」の掛け声のユニークな応援を披露し見事応援賞を獲得しました。

9/7~8 往年の勇姿、よみがえる

～JR左沢線SL「山形日和。」号運行～



来年の山形ディスティネーションキャンペーン(DC)に向けてのイベントの一環として、9月7日、8日にJR左沢線でSL「山形日和。」号が運行されました。

運行されたSLはC11型325号で、昭和47年まで左沢線で運行されていたものです。この日のために発行される乗車券(定員280名)は発売開始と共に完売する程の人気ぶりで、左沢駅周辺には、白煙を出しながら力強く走るSLの勇姿を一目見ようと多くの鉄道ファンが集まりました。

SLは左沢駅に約2時間停車し、この時間を利用して記念撮影をおこなったり、給水作業などを見ることができました。訪れた子どもたちは「乗りたい。なにで動いているの?」などとめったに目にするのでできないSLを前に興奮した様子でした。



9/7~8 レトロなまちなみに懐かしの名車

～クラシックカーミーティング in 大江～

クラシックカー愛好家が自慢の愛車を持ち込んで披露する、クラシックカーミーティングin大江が9月7日、8日、町内横町、原町通りで開催されました。

これは同日開催された、SL「山形日和。」号、うまいもの市に訪れたお客様に町内にも足を運んでもらおうと、今年初めて大江町観光物産協会が企画。会場にはその時代を代表する名車31台が勢ぞろいしました。

会場ではその車のオーナーから話を聞くこともでき、訪れた方は懐かしの名車の歴史や魅力、性能などを聞きながら、重要文化的景観に選定された歴史ある原町通りとのコラボレーションを楽しんでいました。



9/10 イノシシと見られる被害が確認されました

～有害鳥獣による農作物被害～

町内伏熊区の畑で9月10日、イノシシが原因と思われる農作物の被害が確認されました。

イノシシと見られる被害が確認されたのは町内では初めてです。被害を受けた畑では、ミミズを探すために掘ったとみられる穴やカボチャ、サツマイモが食べられた跡などが確認されました。

イノシシは繁殖力が高く、地面に生えている農作物を手当たりしだいに食べ、人に遭遇した場合は、噛みついたり、牙で突くなどの行動をとることもあります。夜に行動することが多く、日没が早まるこれからの時期は注意が必要です。

被害にあった農家の方は、対策を立てて被害の拡大を防止したいと話してくれました。



▲被害を受けたカボチャ

◆わだいの交差点に掲載できなかつた情報の一部は、町ホームページの「フォトおおえ」に写真を掲載していますのでご覧ください

町長 コラム Column

大雨、それに続く台風。果樹の落下や稲の倒伏で、被害に遭われた農家の方々にお見舞い申し上げます。勝てない「戦」とは分かっていますが、もう少し優しい気候であってほしいと思う。

実りの秋、食欲の秋、天高く馬肥ゆる季節になった。町中の道路を車で走っていても稲わらの香りがして、新米が待ち遠しい。お米の力が弱くなり、小麦の力が強くなっているが、「ご飯のおいしさを否定する日本人はいまい」「つや姫」のコメ市場での善戦を期待したい。

「ごはん定食」と、かなり頑張ったが、友人の「イタリア料理」に負けた。東京銀座で、東京に住む友人との食事。主導権はお客様の私にあるはずなのに、強引にイタリアレストランに連れ込まれた。何か分らないが、ポローニャ風…とかなんとか、なんのことはない「スパゲッティ」のことだ。なんとテーブルの脇には「イタリア野菜の種」まで置いてある。友人は「おまえ、田舎でイタリア野菜を作ってみろ」と仕掛けたのかもしれない。そうでなければ「ごはん定食」になっていたはずだ。客を無視するような友人を私は選んでいない。

イタリアカポチャが大きくなったので収穫した。鮮やかな黄色、重さは20キロ、近所におすそ分けし、自分も食べてみたが、味は素っ気ない。東京のイタリアグルメ友人に「まずくて食えない」と抗議の電話をしたら次のように解説された。カポチャに味があつたら、加える肉・野菜・魚・乳製品・調味料…の味が消えてしまつてはいないか、カポチャは主役の脇役だ」分かつたような分かつたような。

ナスと塩と唐辛子、主役も脇役もない、あえて言えばナスだけの「べそら漬け」、味も素っ気もあるではないか。「べそら」とは何たることか。「べそら漬け」にネーミング大賞を差し上げたい。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.06

左沢元屋敷地内楯山の真下、山から流れ出る水が滝になるところに大瀧山不動尊があります。創建年代は不明ですが、近世の「左沢御領内御絵図」には本堂と推定される建物の姿が確認できます。

大瀧山不動尊は別名波切不動尊ともよばれています。波を切るとは荒波を遮る、または荒波を静める力を持つことを意味するとされており、最上川舟運が発達した元禄年間には、船人や船荷の安全祈願として信仰を集め、今でも堂内にはこれまで奉納された宝剣額などの一部が納められています。

現在の境内と最上川には距離がありますが、大正10年鉄道工事の時、境内近くの中から流木と見られる巨木が何本も現れたという記録があることから、創建当時、最上川はもっと不動尊付近を流れていたと考えられています。

堂内に今も残されている宝剣額▶



大瀧山不動尊(波切不動尊)



簡易マップ



ALT通信 マットの おおえ生活 No.33

★このコーナーでは、小見在住のALT（外国語指導助手）マットさんが、日常生活で感じたことなどを伝えます。

Hello everyone! I took a trip with a member from the Board of Education and a volunteer from the Ohe international education group to my home town this summer. It was very fun to show the members of our group the different places in Missoula. For many years now I have tried to explain about my home town using pictures and power point slide shows, but these techniques cannot compare to the actual experience of going and seeing for oneself. I hope that the time we spent in Missoula allowed my travel mates to understand both myself and western mind a little better. My dream is to make these types of experiences possible for everyone in Ohe.



▲モンタナ大学とミズーラ市の象徴的な山 “M”

皆さん、こんにちは！今年の夏、私は教育委員会と国際理解教育事業の関係者と一緒私の故郷に行ってきました。彼らに私の故郷のミズーラ市を案内することは、とても楽しかったです。何年間も私は自分の故郷を写真やスライドで説明しようとしたのですが、それによる理解は自身が見聞きすることに比べれば比較になりません。私の願いは、ミズーラの旅で一緒に行った彼らが、私のことやアメリカのことを前よりも理解してくれることです。私の夢は、大江町の皆さんがもっと容易にこのような経験をもつことができるようになることです。

景観による町づくりを研究

渡辺 慎也さん (22歳・12区)

「重要文化的景観に選定されて、今後町がどのように変わっていくか楽しみです」と話す渡辺さん、現在は東北芸術工科大学で建築デザインについて学んでいます。

さまざまな建築の知識を学ぶこの学科で、渡辺さんが今研究しているのは建築を通した町づくり。特に地元大江町が県内初の重要文化的景観に選定されたこともあり、卒業論文のテーマにしていることで「卒業論文では、景観を活用したどのような町づくりがあるか考えていきたいです」と話してくれました。

大学ではタッチフットボール部に所属しているそうで、その魅力について尋ねたところ「さまざまな芸術コースを専攻しているメンバーが、一人ひとり役割を決め、競技自体をどのようにデザインしていくか考え合う作成タイムがおもしろいです。昨年度は東北大会準優勝でしたが、今年は優勝して全国大会に出場したいです」と楽しそうに話してくれました。



Youthful
トーク

● 短歌 ●

竜巻の被害甚大罹災地の恐怖と苦悩心痛いかにと
 千竿に光りて落ちぬ露の玉手のひら触れば溶けて冷たき
 肘折の温泉に浸りては疲れ取れ賑わう市を堪能したり
 暑き日を耐えぬき実る稲の穂も頭を垂れて刈り取りを待つ
 盃に菊を浮かべて飲む酒は一人静かに月を友にし
 黄金色の稲穂は頭を垂れてをり刈り取り頼むと言ふが如くに
 夏草を刈るのが吾の仕事なり夫は念入りに鎌を研ぎくれる
 のどかなる吾が里にして窓開き星空に寝し節電の夏
 寿命をば知るや知らずや赤とんぼ夕日に映えて群れて戯むる

菅井 妙子
 菊地つねよ
 堀 トヨエ
 長岡かづ子
 佐竹 與鼓
 佐竹 麗子
 伊藤 和子
 斎藤 徳治
 清野 伝蔵

● 俳句 ●

三保の松眺める遺産富士の山
 夫の忌に通草料理を供へけり
 のどけしや鱒雲見ゆ露天風呂
 初秋風美声流れる老福会
 夕映えの藪に通草が見え隠れ
 ご祝儀の役を担ひて秋祭
 稲掛けは投げて受け手の阿吽かな
 鶉の声鳴き渡る瀬祭忌

林 忠逸
 菅井 妙子
 今井 茂樹
 鴨田富士夫
 秋元喜一郎
 熊谷 勉
 舟山 三男
 伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日（必着）まで役場総務課に作品をお寄せください。

お知らせ

Information

おおえハロウィンパーティー開催!!
みんな仮装して集まれ!

- ◆日時／10月27日(日) 14時～17時
- ◆場所／中央公民館
- ◆内容／トリックオアトリート!
(お菓子をもらおう)・ハロウィンゲームや仮装コンテストなど
- ◆参加費／1人300円(3歳以下または会員は無料)
- ◆条件／必ず仮装をしてくること!
(亡霊たちの機嫌が悪くなってしまうす!)
- ◆持ち物／お菓子を入れる袋
- ◆申込締切／10月23日(水)
- ※お問い合わせは、おおえ国際交流協会事務局(政策推進課政策推進係) ☎(62)2118まで

大江町表彰者の内申について

大江町表彰条例に基づき、個人または団体で町の政治、経済、文化、社会、その他の各分野にわたって町振興に寄与し、または他の模範と認められる方の表彰をおこないます。

11月8日(金)まで、各企業および団体などからの内申をお願いいたします。
※お問い合わせは、総務課庶務係 ☎(62)2112まで

業務改善助成金のご案内

この制度は、地域別最低賃金の引上げにより大きな影響を受ける中小企業の事業主の支援を目的とする制度です。

- ◆支給の要件／
 - ①賃金改善計画：事業場内で最も低い時間給を4年以内に800円以上とする計画を作成し、1年目に40円以上の引上げを実施すること
 - ②業務改善計画：申請年度の業務改善(賃金制度の整備、就業規則の作成・改正、労働能率の増進に資する設備・器具の導入、研修など)に係る計画を作成し実施すること
- ◆支給額／業務改善に係る経費の2分の1(上限100万円、下限5万円)
- ※お問い合わせは、山形労働局労働基準部貸金室 ☎023-624-8224まで

河北病院がってん!健康教室開催

- ◆日時／10月20日(日) 13時55分～16時
- ◆場所／河北町総合交流センター

町道工事に係る 終日片側交互通行について



- ◆通行規制路線／町道藤田堂屋敷線
- ◆期間／10月15日～平成26年3月20日
- ◆場所／大江町大字藤田地内
- ◆規制内容／片側交互通行(終日)
- ※お問い合わせは、建設水道課建設係 ☎(62)2116まで

「サハトベに花」

- ◆テーマ／「そうだったのか!生活習慣病の真実」
- ◆内容／糖尿病の予防と治療・脂質異常症・野菜350gを分かりやすく紹介、パネルディスカッション
- ※参加費無料・予約不要です
- ※お問い合わせは、県立河北病院病院長総務課 ☎(73)3131まで

中国語講座の受講生募集

寒河江西村山日中友好協会主催の

- ◆「サハトベに花」中国語講座は2クラス編成で受講生を募集しています。
- ◆期日／11月1日(金)～平成26年3月28日(金)(祝日と年末年始を除く毎週金曜日・全20回)
- ◆時間／19時30分～21時
- ◆場所／寒河江ハートフルセンター
- ◆内容／初歩クラスⅡ初めて学ぶ方向け、初級クラスⅡ継続受講者向け
- ◆受講料／5000円
- ※お問い合わせは、寒河江西村山日中友好協会(事務局・山形新聞社寒河江支社内) ☎(86)4241まで

自衛官募集・採用説明会のお知らせ

自衛官等募集

- ①自衛官候補生(男子)
- ◆試験/12月1日(日)
- ◆募集資格/18歳以上27歳未満
- ◆受付/9月9日(月)〜11月27日(水)
- ②高等工科学校生徒
- ◆試験/平成26年1月18日(土)
- ◆募集資格/15歳以上17歳未満
- ※中学校卒業者、見込み者含む

- ◆受付/11月1日(金)〜平成26年1月10日(金)
- ◆自衛官等採用説明会
- ◆日時/10月26日(土)10時〜13時
- ◆場所/

- 山形会場：自衛隊山形募集案内所
- (山形市南原町1丁目25-35)
- 寒河江会場：フロラSAGAE4
- 階共用文化室(寒河江市本町2丁目8-3)
- ※お問い合わせは、自衛隊山形募集案内所 ☎023-632-8976まで

「トリオ・グラシア」
音楽の花束をあなたに
〜ホットといいきコンサート〜

ソプラノ：佐藤美喜子 (大江町在住)
チェロ：鈴木信哉 (寒河江市在住)
ピアノ：鈴木布美子 (寒河江市在住)

◆日時/11月2日(土) ◆賛助出演◆

- 開場14時30分
- 開演15時
- ◆会場/東地区公民館
- ◆曲目/
- さくらんぼ実る頃、初恋、アヴェ・マリア、アメイジング・グレイス他
- ※お問い合わせは、社会教育係 ☎(62)3666まで

フルート：菅 紀子 (新庄市在住)

テノール：相澤伸彦 (寒河江市在住)

介護就職デイ「福祉の仕事フェア」
〜就職面接会2013〜の開催

- ◆日時/11月13日(水)13時〜16時
- ◆場所/山形ビッグウイング(山形市平久保100)

- ◆対象/福祉に関心のある方、お仕事をお探しの方、資格取得を目指している方など(一般・学生問わず)
- ◆参加企業/45社

- ◆同時開催/能力開発啓発セミナー、就職応援セミナー、福祉機器の展示・体験など
- ※お問い合わせは、ハローワークさかえ ☎(86)4221まで

国道13号、112号交通規制のお知らせ

東栗子・西栗子トンネル、月山第一、第二トンネルの天石板撤去工事にともない、次のとおり交通規制をおこないます。工事期間中は大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

- ①国道13号、東栗子・西栗子トンネル
- ◆通行規制/10月15日(火)〜12月20日(金)を予定：片側交互通行(終日)長い待ち時間が予想されます。迂回などご協力をお願いします
- ◆迂回路/国道4号、113号、48号、

49号、121号をご利用ください

※お問い合わせは、国土交通省福島河川国道事務所 ☎024-546-4331まで

- ②国道112号、月山第一、二トンネル
- ◆通行規制/10月15日(火)〜12月20日(金)を予定：夜間全面通行止め(21時〜6時)。月山道路区間が夜間通行止めのため、夜間に山形道・国道112号を利用して内陸と庄内地域間は通行できません。

- ◆迂回路/国道13号、47号、7号、113号をご利用ください。
- ※お問い合わせは、酒田河川国道事務所 ☎0234-27-3331まで

編集 後記

特集最初のページのSL写真はまるで映画のワンシーンに出てきそうなカッコいい写真だと思っています。昭和30年代という東京オリンピック開催より少し前ぐらいでしょうか？今回57年ぶりに東京で2度目のオリンピック開催が決定しました。57年…いまいピンときませんが、この写真を見ると社会の変化が実感できます。この計算でいくと私は長生きすればもう一回日本でオリンピックをみる事ができます。その時、私が撮った町の写真を見て未来の町民の皆さんはどう感じるのか気になります。(山家雄志)

★お詫びと訂正…広報おおえ9月号のP14で、大江クラブ選手「渡辺哲也さん」とありますが、正しくは「渡辺拓也さん」でした。お詫びして訂正いたします。



「秋刀魚」 藤田区 荒川啓一

リレー随想／ 《第76回》

音楽は生きる力

「もっと顔と身体を使わないと歌え
ませんよ！」

現在、私は大江町の混声合唱団と山形市の女声コーラスの二団体を指導しています。そして必ず出てくるのがこの言葉です。もちろん合唱だけに限らず、楽器演奏全てに共通するものですが、特に歌の場合は身体が楽器なので必然となります。私自身もコンサートが近ければ、体調管理には神経を使いますし、体力維持のためにたくさん食べます。それでも「本番当日に万全の体調で臨めた

のは何回あったかしら？」…と言うほど、調整は難しいものです。

特にオペラ公演は本番が近付くと連日稽古となり、声帯も身体の疲れもピークとなり、さらに緊張する中でテンションを上げていかななくてはなりません。そして歌詞が出てこない、もうすぐ出番なのに何も準備できていない…など冷や汗ものの夢を必ず見るようになります。これが自分ばかりかと思いきや、仲間も同じだと聞き安堵するのいつかの間、いよいよ本番をむかえ舞台袖にいる私は、「何でここにいるのだ、逃げ出したい！でも逃げたら皆に迷惑をかけてしまう…」なんて、半分本気にとんでもない事を考えるほど、緊張でガタガタ状態に陥ります。こればかりは、何度経験しても慣れるという事はなく、むしろ歳とともに緊張は大きくなるばかりです。そして開き直っていき舞台へ！

オペラはよく長時間で難しいものと捉えられがちですが、決してそんなことはありません。確かに長時間のものは多いですが、ほとんどが惚れた腫れたの男女の恋物語で、悲恋もあればお笑い劇もありで、気軽に楽しむことができます。通常は大きなホールでの公演となりますが、県の生涯学習文化財団からの働き掛けもあり、数年前から山形オペラ協会と山形交響楽団との共演で、町の小さなホールでの公演も可能な演出で

実現しています。大江町でもこれまでに、オペラ公演を2回とガラコンサートを1回開催しており、これも町長様はじめ、町の理解と応援があつてこそ実現したものと感謝しております。

今夏、甲子園でベスト4まで勝ち進み、ボーイズビーアンピシヤスで始まる校歌でも全国の話題となった日大山形高校で講師を勤め、初めて吹奏楽部の指導にも携わっています。高校生ともなると、最初の音合わせから合奏に至るまで全て自分たちでこなします。その後こちらが指導に入るのですが、とても頼もしく、これからの若い力の活躍を大いに期待しているところです。ただ、私が学生だった頃、所属していた合唱部が今はなく、ちよつと寂しい気もしますが…。

さて、文化の日が近づく11月2日の午後3時から、東地区公民館において、「音楽の花束をあなたへ」ホツとひとときコンサート」と題して、メンバーのトリオ・グラシアの三人とフルートとテノールのお二人の賛助出演によるコンサートを開催いたします。この忙しい世の中で、ホツとする時間を過ごしていただけますよう、クラシックから日本の歌ポピュラーまで楽しんでいただけるプログラムとなっております。皆様のお越しをお待ちしております。

(8区 佐藤美喜子)

人口と世帯(前月比)

町の人口 9,028人(+2)
男 4,433人(±0)
女 4,595人(+2)
世帯数 2,918戸(+7)

平成25年10月1日現在

戸籍の まど

8月21日～9月20日受付分

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
9区	鈴木 民子	(86)
小見	伊藤 愛子	(91)
10区	今田 秋男	(80)
9区	渡辺 正受	(66)
諏訪原	庄司 克己	(85)
12区	今野とよ子	(84)
三合田	柏倉 博正	(85)
9区	松田昭右エ門	(85)
藤田	横山長右エ門	(79)
藤田	塚本 やを	(94)
8区	鈴木 保作	(98)
木の沢	羽柴 秀信	(80)
塩野平	渡邊ハチエ	(95)
藤田	庄司 ホマ	(102)

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
蛭水	荒木 和 <small>どか</small>	女	大・恵
若原	石山 葵 <small>あおい</small>	男	明典・早苗
伏熊	菊地 芽 <small>めい</small>	女	祐貴・由香
7区	小國 央 <small>あき</small>	女	修広・加奈子
小見	伊藤 奈 <small>な</small>	女	昭司・明美
みなみ	庄司 暖 <small>あかり</small>	男	恵介・綾子
諏訪原	池田 彩 <small>あや</small>	女	朋治・理恵子



※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。